

ギークス株式会社

決算説明資料（スマホ向けサマリ版）

2026年3月期第2四半期

2Q業績ハイライト

営業利益以下 YoY +100%超

累計
売上高

128.9 億円 (YoY +5.8%)

累計
営業利益

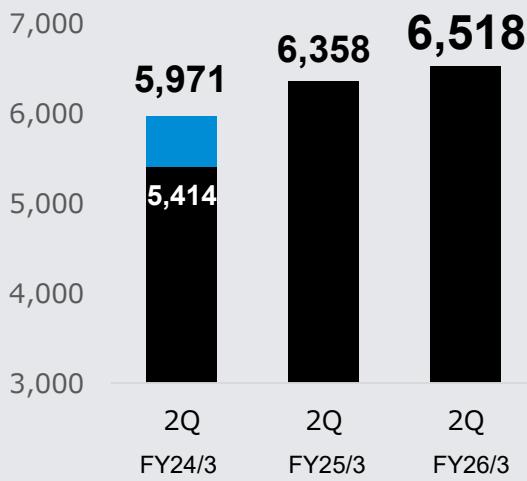
4.3 億円 (YoY +126.2%)

累計
純利益

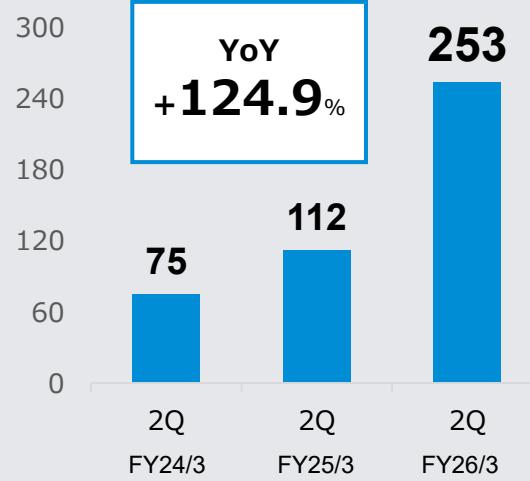
3.4 億円 (YoY +109.2%)

(百万円)

売上高推移



営業利益推移



※ グラフ青色は譲渡済みのゲーム事業の売上高

2026年3月期2Q：業績および通期計画進捗状況

(百万円)	25年3月期 2Q累計	26年3月期 2Q累計	通期計画	
			計画	進捗率
売上高	12,183	12,891	26,600	48.5 %
EBITDA	256	476	880	54.1 %
営業利益	193	437	800	54.7 %
経常利益	199	427	770	55.5 %
当期純利益	164	343	550	62.5 %

2026年3月期 2Q 業績

- 第2四半期の業績は好調に推移。
- 累計売上高はYoY5.8%増、営業利益は生産性の向上や費用コントロールにより、YoY126.2%増と大幅に伸長。

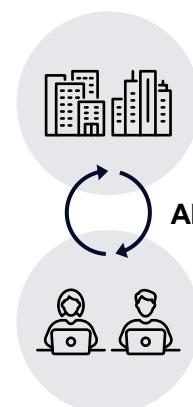
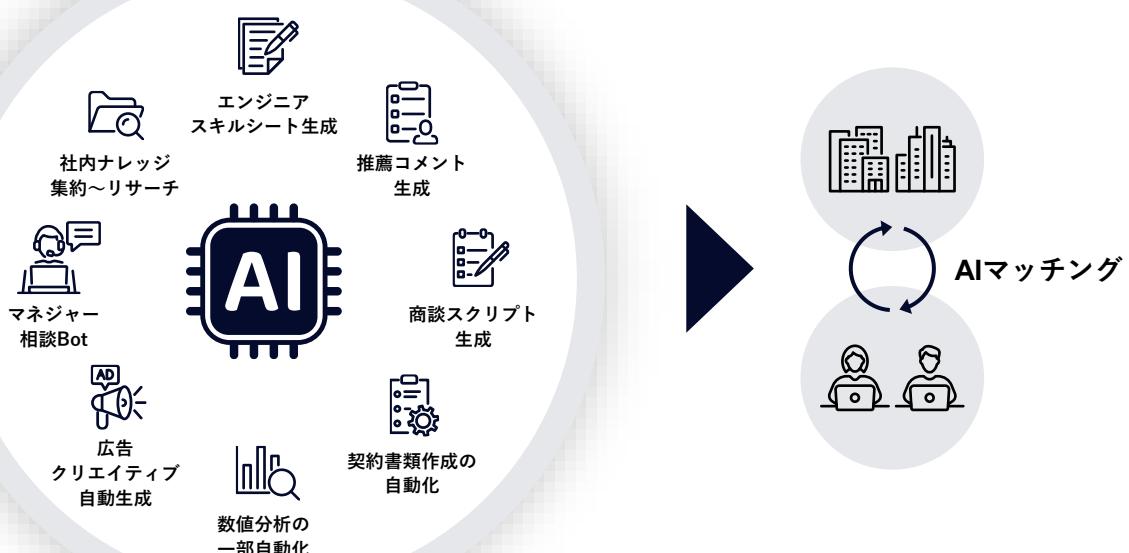
戦略的AI活用の取り組み

- AIを事業戦略上の重要テーマと位置づけ、今後は「知識集約型」要素を高めるビジネスモデルへの転換を推進。
- 統合型AIエージェント「GEECHS AI」の開発とAI共創文化の確立によって、更なる生産性の向上を目指す。

2026年3月期 業績予想の修正

- 全てのセグメントの業績が好調に推移したため、10月27日に連結業績予想の上方修正を開示。
- 通期売上高は266億円（据え置き）、営業利益は8億円（プラス1億円）を計画。

GEECHS AIの開発と 「知識集約型」要素を高めたビジネスモデルへの変革



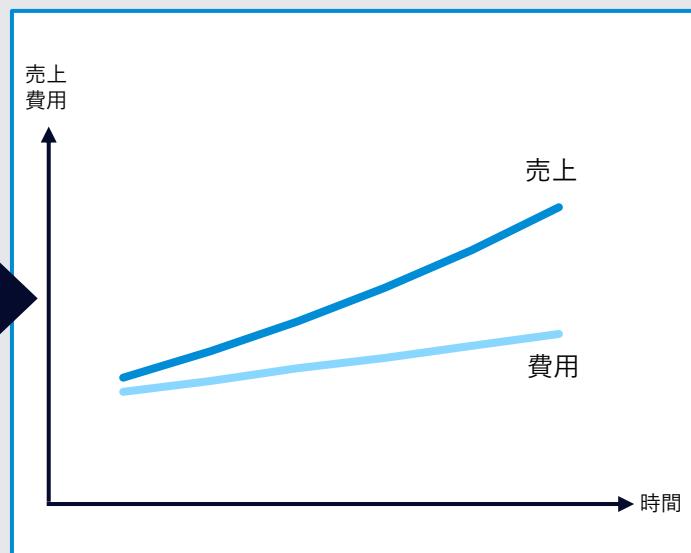
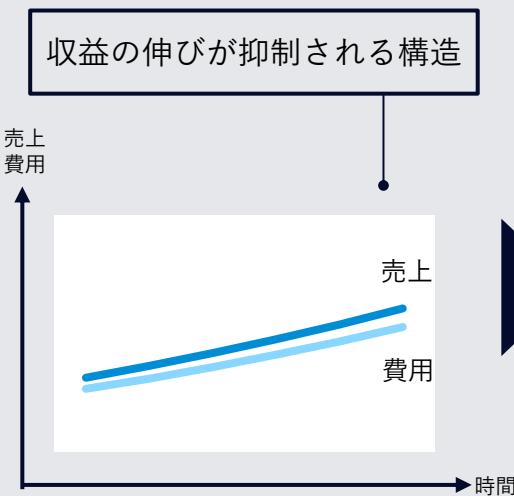
「ギークスAI」をマッチングの中核ツールとし、
知識集約化・非属人化を実現

課題

- 営業スキルの属人性
- 労働集約型ビジネス

課題に対する取り組み

- 「AIとの共創」を実現する働き方への意識改革
- 課題解決を改善する中核ツールとして、統合型AIエージェント「GEECHS AI」を開発



「知識集約型」要素を高め、売上成長率アップと
売上成長に対するコスト増の抑制を狙う